

野島記念 Business Award

本取り組みは、大学が主催する唯一のビジネスコンテストです。商学部OBである野島廣司氏(株式会社ノジマ代表執行役社長)からの「中央大学から、法曹や会計の分野だけでなく、ビジネス界で活躍する人が増えてほしい」という篤志を受け運営されています。

運営にあたっては、学生で組織された実行委員会が、外部起業家やビジネスパーソンを審査員として招聘し、アドバイザー教員や職員の指導を受けながら、レベルの高いビジネスコンテスト実施を目指しています。

本コンテストは、本学教員による書類選考、外部起業家・ビジネスパーソン等の審査員による一次審査、二次審査、決勝の4段階で構成されており、優勝者には賞金30万円が授与されます。

参加者に対しては、ビジネスプラン着想の支援をする「アイデアデザイン講演会」、ふだん馴染みのない事業計画の書き方を支援する「事業計画書の書き方講座」等、ビジネスに必要なスキルを修得できる多数の施策を実施し、挑戦を支援しております。さらに、決勝進出チームに対しては、本学ビジネススクール(社会人大学院)のゼミナール(在学生・修了生)の協力を得て、ビジネスプランのメンタリング(知識や経験の豊かな者(メンター)によるキャリア成功を目的とした総合的支援)を行っています。

これまでの出場チーム数は、2014年度までの過去8回で、のべ320チームを超え、出場者のなかからは、実際にベンチャーとして起業し



第8回野島記念Business Award 優勝チーム「Wild Birds」

た方も出ています。

また、決勝進出チームのなかからは、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)が主催する「起業家甲子園」への出場権を獲得するチームもあります。2013年度は、本コンテスト優勝プランが出場し、複数企業からの表彰を受けるなど、全国の精鋭たちのなかで成果をあげています。

世界に冠たる大企業のトップも多数輩出してきた本学ですが、その伝統に甘んじることなく、課題解決に向けてひたむきに努力できるタフな人財、社会のニーズをつかみ、自らの発想で解決していく人財を養成していきます。その育成や、実際にビジネスプランを生み出すためには、在学中から市場調査やテストラン等、学内外でビジネスのトライ&エラーを繰り返すことが有効であり、ビジネスコンテストはその絶好の機会でもあります。

本コンテストに参加する学生、運営する学生たちはもとより、在学中にビジネスへ挑戦する学生たちの活動に、皆さまのご理解とご支援、ご協力をお願いいたします。



野島廣司社長を囲んで、「中央大学野島記念Business Award 2014」決勝進出チームと審査員